

# 教皇庁科学アカデミー会員に

京都大学 iPS細胞研究所 山中伸弥教授



教皇フランシスコは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）研究で2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授（51所長）を、iPS細胞研究所を、京都大学i

## 任命、「光栄に思います」

教皇庁科学アカデミー会員に選出された。バチカンが11月9日、発表した。選出に当たり、山中教授は以下のようなコメントを発表した。「このたびローマ法王庁科学アカデミー会員に任命され光栄に思います。今後も科学の発展に貢献すべく、身を引き締めて研究活動を行いたいと思っております」

教皇庁科学アカデミー

は、ノーベル賞受賞者など世界の先端科学者を、宗教・宗派にかかわらず選出する。

日本人では現在、野依良治・理化学研究所理事長（2001年ノーベル化学賞）、五條堀孝・国立遺伝学研究所教授も会員になっている。

※写真は、2011年11月4日に東京で開催された、高校生向けフォーラムで質問に対して回答する山中教授。（©京都大学iPS細胞研究所）